

## 4. 事業の概況（令和元年度）

### ①事業別業況

#### ◇農業関連事業

##### 【購買事業】

当期の生産購買品供給高は、肥料・農薬・飼料について水稻肥料・農薬・飼料の銘柄集約による値下げ等を通じ、低価格による供給を進めた結果、12,403百万円となりました。

##### 【販売事業】

当期の販売品販売・取扱高は、米の買取制度を令和元年産米も継続実施し、また畜産の増頭対策や購買者誘致、園芸重点推進5品目の拡大を継続的に取り組んだ結果、38,694百万円となりました。

#### ◇生活関連事業

当期の生活購買品供給高は、地産地消を基本に「安全・安心・新鮮」にこだわったJAらしい店舗運営や、県下統一企画による自動車・ガス・石油事業の各種セールを展開した結果、19,687百万円となりました。

#### ◇信用事業

組合員・利用者のニーズを踏まえ、農業と地域利用者をつなぐ貯金キャンペーンや、担い手農業者や子育て世代を応援する金融サービスを積極的に展開した結果、貯金が期末残高976,761百万円、貸出金が期末残高286,465百万円となりました。

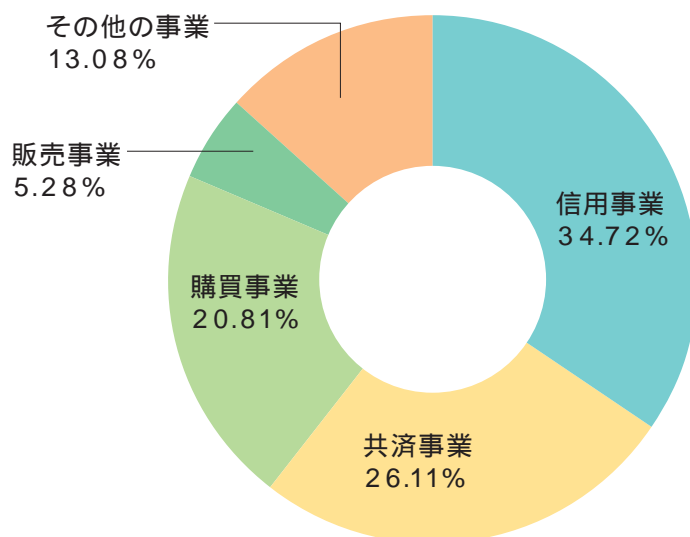
#### ◇共済事業

共済渉外担当者（LA）を中心とした3Q訪問活動による保障ニーズに即した提案活動、支店共済担当者（スマイルサポーター）による迅速・丁寧な窓口対応、次世代層への出産育児を応援する「JAしまね こども倶楽部」の普及拡大に取り組みました。

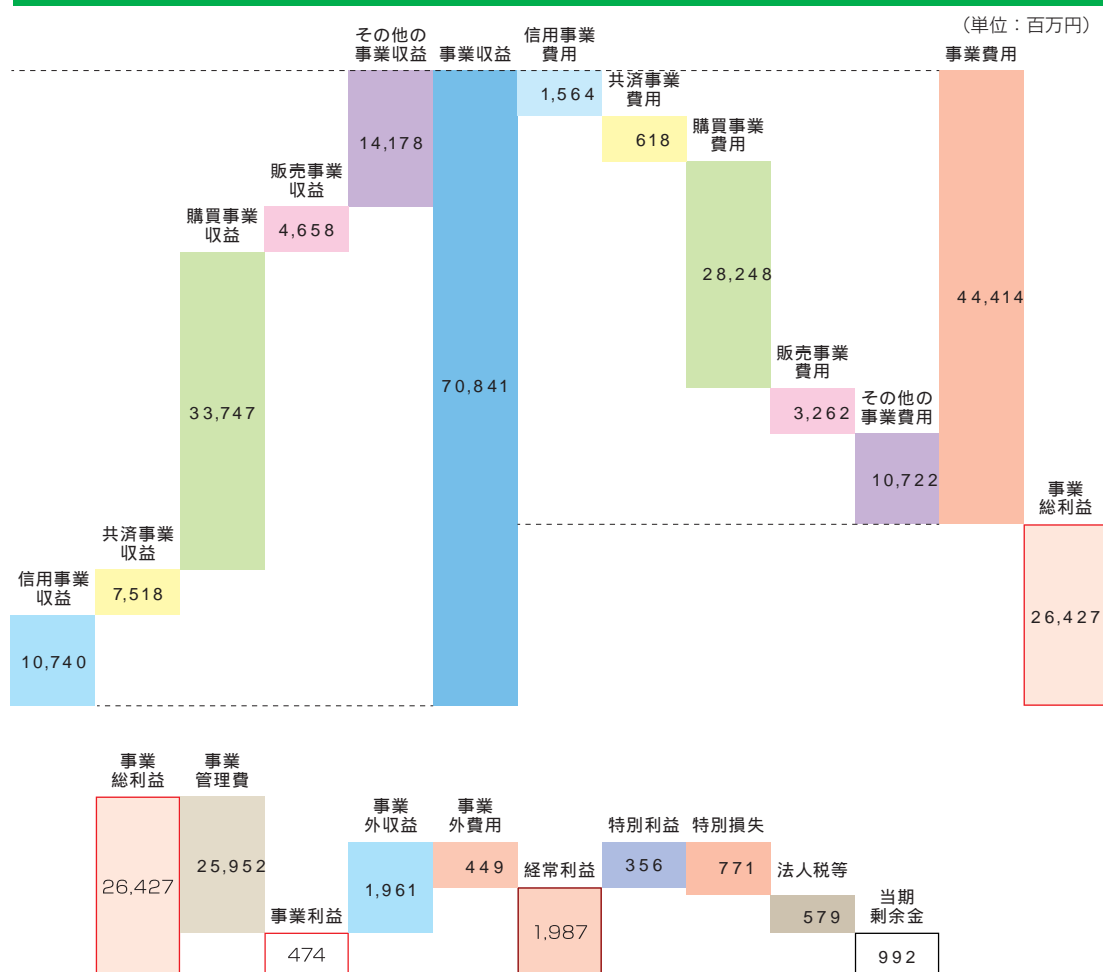
### 損益の状況

損益は、事業総利益が26,427百万円、経常利益が1,987百万円となり、当期剰余金が992百万円となりました。

## 事業総利益に占める各事業の割合



## 事業総利益の構成



## 5. 農業振興活動

### 1. 「農業戦略実践3ヵ年営農計画」の実現に向けた取り組み

J Aしまねでは、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」の実現に向けて、第2次「J Aしまね農業戦略実践3ヵ年営農計画」の初年度は、島根県との「農業産出額100億円増の早期達成に向けた共同宣言」を踏まえ、「活力ある島根農業・農村振興連絡会議」や「県農業再生協議会」等を通じて、各市町村と一体的な取り組みや支援を行い、水田農業のあり方、園芸・畜産を取り入れた複合型営農への転換、集落組織・法人の育成による担い手の確保対策等の取り組み方針を掲げ、実践してきました。

### 2. 「島根米生産集荷販売方針」の策定

J Aしまね「島根米生産集荷販売方針」を決定し、売れるコメ作りへの対応として「販売を起点としたものづくり」の実現に向けて、実需者及び卸売業者から要望の強い「きぬむすめ」「つや姫」への品種誘導を行うことで、今後の水田営農の経営安定化を図ることとしました。

### 3. 担い手支援の取り組み

本店が担う「県域担い手サポートセンター」や「島根県農業経営相談所」での機能発揮や、各地区本部・J Aグループ・農業再生協議会等の関係機関と連携し、担い手農業者（組織）の農業所得の向上に向けた取り組みを行いました。

### 4. 生産コスト低減に向けた取り組み

令和元年産水稻肥料・農薬について、肥料統一銘柄7品目、農薬統一銘柄10品目に絞り込み、品目集約による価格低減により組合員へ還元を行いました。また、価格低減となる担い手直送超大型規格農薬の普及面積拡大に取り組みました。

### 5. 農業振興支援事業での持続的営農への支援

第2次「J Aしまね農業戦略実践3ヵ年営農計画」の実現に向けて、園芸重点推進5品目の拡大支援やしまね和牛増頭支援等の重点事項に対する支援、規模拡大、生産基盤の強化を図る担い手への支援、新規就農者の育成確保、担い手の健康対策に対し約1.3億円を支援しました。



## ◇農業関係の地域密着型金融への取り組み

### ○保証料助成の実施

農業近代化資金、認定農業者支援資金、農業経営サポート資金の借入時に必要となる島根県農業信用基金協会の保証料の全額助成を行い、担い手農業者の借入負担の軽減に努めました。

### ○農業所得増大・地域活性化応援プログラム「新規就農応援事業」の取り組み

新規独立就農者に対する農業費用を助成する「新規就農営農支援事業（申請額1件当たり200千円）」について30件、研修受け入れ先に対する研修費用を助成する「新規就農研修支援事業（申請額1件当たり20～30千円/月）」について3件の申請を受け付け、助成を行いました。

### ○「JAバンク食農教育応援事業」の実施

子どもを対象とした食農教育を中心とする教育実践活動を通じ、子どもの農業に対する理解を深め、農業のファン層を拡大するとともに地域の発展に貢献することを目的として、県内小学校に対し食農・環境保全・金融経済教育にかかる教材本を無償贈呈しました。



## 6. 地域貢献情報

### 地域からの資金調達の状況

(貯金・積金残高 令和2年3月末現在)

(単位：千円)

種類	残高
流動性貯金	436,716,333
定期性貯金	513,387,700
定期積金	24,902,683
その他の貯金	790,059
譲渡性貯金	964,880
合計	976,761,655

### 地域への資金供給の状況

(貸出金残高 令和2年3月末現在)

(単位：千円)

区分	残高
組合員	206,122,722
地方公共団体	50,866,324
その他	29,476,762
合計	286,465,808

### 地域密着型金融への取り組み

#### 農畜産物消費拡大、農家所得向上の取り組み

島根県内の特産品を使用した加工品をプレゼントするキャンペーンを実施し、貯蓄推進と併せて総合事業体であるJAの強みを生かした農畜産物消費拡大、農家所得向上に取り組んでいます。

#### 子育て応援宣言

平成28年10月より「子育て応援宣言」として、「地域の活性化」「子育てしやすい環境」を目指し、住宅ローン・マイカーローン・教育ローンで子育てを頑張る皆様を全力サポートしています。

住宅ローンでは、「子育て応援サービス」としてお子様の人数に応じた金利引下げを実施し、多くの方にご利用いただいています。

また、貯金商品では18歳以下のお子様がいいらっしゃる方を対象とした金利上乘せ定期積金をご用意しています。

## 生涯のパートナーとしてライフイベントにかかる相談機能の充実

組合員・地域の皆さまのライフイベントに関するご相談に応えるため、個別に年金相談、相続・贈与相談を行っています。令和元年度は、年金相談を3,367件、相続・贈与相談を567件受け付け対応しました。また、組合員・地域の皆さまの将来の資産形成をサポート・提案する資産相談態勢の構築も図っています。

今後も幅広い相談にお応えできるよう、内容の充実に取り組んでまいります。

### <地域社会に貢献する活動>

- ① 交通安全意識の啓発と交通事故防止を目的として、中学生に夜光反射材の寄贈や自転車交通安全教室を開催しました。
- ② 子どもたちがスポーツを通じて健やかな成長とふれあいと友情の輪を深めることを目的に、キッズサッカー大会や学童野球大会を開催しています。
- ③ 地域貢献・地域活性化に取り組むグループや団体の活動を支援する事業に取り組んでいます。
- ④ JA女性部では、「JA女性エコライフ宣言」にもとづき、消費電力削減、マイ箸・マイバック持参、有機肥料（ボカシ）や廃油を利用した石鹸づくりなどの環境保全に努めました。また、ゴミを拾いながら地域を歩く美化ウォークにも取り組みました。

### <くらしの活動関係>

- ① 「食農教育」の一環として学童農園、親子クッキングスクール、あぐりキッズスクール等さまざまな活動を行なっています。年間を通じてカリキュラムを立て、体験を通して食や農の大切さを伝えています。  
また、職員やJA青年連盟・JA女性部などが出前授業として学校等に出かけ、豆腐づくりや米づくり等の実習を通じて、地元食材の良さや食と農への理解を深める取り組みを行っています。
- ② 農業体験や料理教室、趣味の講座などを通じて健康で心豊かな自立した女性を目指すとともに、農業への興味やJAへの関心を高めることを目的にJA女子大学を開講しています。JA女子大学は、1期2年でカリキュラムを組んでおり、講座は毎月1回実施し、学びの場を通しての仲間づくりを進めています。  
また、シニア大学や男の料理教室なども開講し、幅広い年代の生きがいづくりにも取り組んでいます。
- ③ JAしまね支店ふれあい活動・JAしまね女性部統一行動として、支店を利用する組合員・利用者等への「おもてなし」をテーマに来店したくなる支店を目指して、支店の美化活動・みどりのカーテン・『家の光』記事活用作品展示等を実施しています。
- ④ 組合員や担い手・JA女性部など地域住民に対し、人間ドック、担い手人間ドック、農業者・女性部健診、健康相談などを開催し健康管理活動に努めました。
- ⑤ ホームヘルパー養成講座の修了者等が会員となっている助けあい組織やJA女性部では、ミニデイサービス・茶会・おやつサービス等のボランティア活動に取り組んでいます。